

令和5年6月30日(金)

『幸せ』ってどんなこと？

～第3回ナナメの教室より～



発行所
常磐南小学校
電話 46-2005
FAX 46-2048
— 第37号 —
2023.7.27

「文武両道」で「分かる」

校長 林 幸康

私は、担任の時代から、常に楽しい授業を目指してきました。子どもたちが授業を楽しんでいると感じるには、「分かる」ということがとても重要なことだと考えています。

『バカの壁』の著者として有名な養老孟司さんは、脳の「文武両道」ということを言われています。「文」とは、脳への入力であり、話を聞いたり、本を読んだりすることで、情報が脳へと入力されることです。脳はその入力情報を統合して、話したり、動いたりといった出力をします。これが「武」です。「文武」が繰り返されることによって、一つの事象に対する理解が生まれます。つまり、見たり、聞いたりしているだけの授業では、「分かる」にはたどり着けないのです。

先日、PTA主催の『ナナメの教室』が行われました。今回は、「幸せとは？」をテーマに、子どもと保護者が話し合いました。答えのない問題に挑戦するという趣旨の通り、「幸せ」は人それぞれであり、正解はありません。それでも、人の「幸せ」を聞き、自分の「幸せ」を語ることを繰り返しているうちに、「こういう幸せもあるのか」「自分にとって幸せではないことも、人には幸せに感じるんだ」など、「幸せ」について、子どもたちの認識は深まっていきました。言うなれば、「幸せ」について「分かる」ようになっていったのです。

本校が取り組んでいる『学び合い』も『チーム学習』も、子どもたち全員に「文武」を求めています。脳の「文武両道」を展開させることで、子どもを「分かる」へと導いていく。今後も授業研究を進め、子どもたちの「分かる」をもっともっと多く引き出していきたいと思います。



第三回 ときなんナナメの教室

- ◆日時 六月三十日(金) 六時間目
- ◆参加者 五・六年生児童・担任・保護者十四名
- ◆テーマ 「あなたにとって幸せとは？」

大切だと思ったナナメの教室

五年

「ナナメの教室」をやってみて、わたしはとても楽しかったです。

テーマが「幸せとは？」で、わたしの幸せはいっぱいあったけれど、班のみんなからもいろいろな幸せや納得できる意見が聞けたので面白かったです。

最後に全ての班が「幸せとは？」のまとめを発表しました。わたしの班は「生きていくこと」でした。他の班のまとめも聞いて良かったし、やっぱりみんなと考えることは大切だと思いました。



【幸せとは何かを発表する6年生】



【自分にとっての幸せを書き込む子どもたち】

ナナメの教室

五年

六月三十日にナナメの教室がありました。五年生になり、初めてのナナメの教室で少し緊張しました。

ぼくのグループでは、最初、自分にとっての幸せが出てきませんでした。しかし、一つ、二つと同じグループの人から自分にとっての幸せが出てくると、だんだん頭の中で自分にとっての幸せがうかんできました。

今回のナナメの教室で、人はいろんな幸せをもっていることを知りました。

みんなで考えた「幸せ」

六年

久しぶりのナナメの教室。今回は「幸せとは？」をテーマに、みんなの意見を言いました。みんなで多くの意見を出したり、質問したりしていました。

ぼくは、ナナメの教室が好きです。

なぜなら、答えのないものをみんなで考えることが好きだからです。一人一人が思っていることを自由に言えるので、今回も楽しくできました。ぼくは、お互いの意見を大切にしながら、学校生活を楽しく過ごしたいです。

いろんな「幸せ」

六年

今回のナナメの教室のテーマは「幸せとは？」で、私はあまり幸せについて考えたことはありませんでした。でも、今回実際に考えてみたら、いろんなことが浮かんできたので、幸せって意外と身近にあるんだなと思いました。

他の班の発表を聞いて、似たような意見がたくさんありました。特に「生きていくとき」という意見が多くて驚きました。次のナナメの教室でもたくさん意見を言いたいです。



【感想を発表する5年生】

一年 しゃぼん玉



【長いしゃぼん玉ができたよ】

おおきなしゃぼん玉をつくったよ

一年

せいかつのはじめから、しゃぼん玉あそびをしました。ぼくが作ったどうぐは、ハンガーです。おおきなしゃぼん玉をつくりたかったので、ゆっくりハンガーをうごかししました。こつは、したからうえにむかってうごかすとじょうずにできます。つぎはちがうどうぐでやりたいです。

にじいろのしゃぼん玉ができたよ

一年

ぼくは、ラップのしんをつかってしゃぼん玉をつくりました。えきをつけてから、いきをやさしくふくと、おおきなしゃぼん玉ができました。うれしかったです。できたしゃぼん玉は、にじいろできれいでした。しゃぼん玉がわれずに、こうしゃやりたかくあがっていったので、すごくうれしかったです。

R5 常磐南学区夏祭りの夕べ



「R5 常磐南学区 夏祭りの夕べ」
 ●日時 八月十二日(土)午後六時～
 ●場所 常磐南小学校運動場
 (雨天時 体育館)



【夏祭りに向けて太鼓の指導を受ける子どもたち】

お知らせ

6月9日(金)に社教役員会が開かれ、夏祭りの夕べ企画委員会が発足しました。今年度は、4年ぶりに「常磐南学区夏祭りの夕べ」が開催されます。盆踊りの他、子どもたちの楽しみにしている「まき菓子」や「お楽しみ抽選会」を予定しています。また夜店では、飲み物やフランクフルト、かき氷をはじめ各種おつまみ等も準備しています。お楽しみに。

◆全校出校日 八月二十一日(月)
 ※親子環境美化活動について
 八時三十分～九時四十五分
 (雨天中止)

◆学校閉庁日

今年度も左記のように「学校閉庁日」を設けますので、ご理解ご協力をよろしく願います。

【閉庁期間】

八月九日(水)～十五日(火)

【緊急の連絡先】

岡崎市教育委員会学校指導課

電話 23-6441

常南の心

おいしい給食

校務主任とは三組担任

「おいしい給食」というドラマがある。食育を推奨する中学校で、給食をこよなく愛する教師と生徒の日常が描かれている。いかに、その日の給食をおいしく食べるかを、この教師と生徒が競うところが実に面白い。ここには、昭和の給食が出てきて、小学校時代を思い出す。苦手だったチーズがいつの間にか食べられるようになっていたり、家では出されない味付けに感動したりして、給食の時間が楽しみだった。教師を目指すときも、給食が食べられる方がいいと思いつき、校種を選んだ気もする。今の学校給食は、様々な国の料理だったり、同じ食材でも調理法が工夫されていたりして、おいしくなつたと感じる。

学校給食は、多くの人の手によって、子どもたちに届けられている。栄養バランス、様々な調理法、地産地消、旬の食材、食物アレルギーについてなど、「食育」として多くのことを学ぶことができる。自分の学級では「もりもり食べ野菜」を合言葉に、しっかりと食べることを目標にしてきた。

常磐南小学校では、わらびご飯の会やとろろごはんの会など、「食」に関して、地域で学ぶことができ、本当に素晴らしいところだと思ふ。この伝統を受け継ぎ、「食」を大切にしていってほしいと思ふ。そして、毎日の給食もおいしくいただいでほしい。

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	
	読み聞かせ PTA役員会 社教役員会				委員会			読み聞かせ		福寿会奉仕活動		敬老の日		学区敬老会	読み聞かせ		観劇会	5年校外学習	クラブ			読み聞かせ	体験型防犯教室	学校公開 夏休み作品展		児童集会 委員会	予備日	小学校水泳大会 第二回子ども会資源回収	給食開始	地震避難訓練 かき氷の会

